

りゅう

金山中学校だより
１０月号
令和８年１０月３０日
TEL 0233-52-2905
文責　大類　勝徳

響心協奏　～響け！心で奏でるメッセージ～

１０月２４日（土）、本校体育館を会場に令和８年度金山中学校合唱祭を開催いたしました。

生徒たちが自分たちで工夫を凝らし、同じ目標に向かって前向きに取り組んできた成果が、会場にお越しいただいた多くの方々の心に響く感動的な合唱となって結実しました。

今年度のテーマには、一人ひとりの思いを歌声にのせ、それぞれの個性を響き合わせることで、金中生にしか奏でられないハーモニーを創り、聴いてくださる人の心に届けたいという強い思いが込められています。

会場を彩ったテーマ看板の右側には「ふるさと金山町がこれからも永遠に輝き続けてほしい」「合唱祭の思い出がいつまでも心に残ってほしい」という願いを込めて「不死鳥」を描きました。左側の「音符」には、一人ひとりの歌声や想いがつながった特別な音楽という意味が込められています。さらにブラックライトで照らすことで神秘的な輝きを放つ仕掛けなど、生徒たちの豊かな創造力が存分に発揮されていました。





１年生の合唱は、当初は男子の発声に苦労した時期もありましたが、日々の練習を通して日に日に上達していきました。本番では、男声・アルト・ソプラノの息の合った見事なハーモニーを披露してくれました。

２年生の合唱は、出だしのアカペラから始まる難易度の高い長曲に挑戦。それぞれのパートが美しく調和し、華やかで聴き応えのある合唱を作り上げ、練習の成果がしっかりと現れていました。

３年生の中学校生活最後となる合唱祭への情熱は、練習段階から目を見張るものがありました。合唱委員やパートリーダーを中心に主体的に練習を重ね、本番ではクラスの圧倒的な団結力を感じる合唱を届けてくれました。

生徒たちがひとつの目標に向かって互いを高め合い、創り上げた今回の合唱祭。この経験と培った絆を、今後の学校生活にも活かしていきます。温かいご声援をいただき、本当にありがとうございました。

合唱委員長の早坂舞桜さんのコメント（抜粋）

　練習が計画通りに進まず、悩んだり、迷ったりしたことがたくさんありました。でもそれがあるから今の私たちの成長につながったと思います。これからもずっと私たち金中生の合唱の文化が続くことを願っています。



来賓の皆様のコメント

- さすが学年が上がるほど迫力が増している感じを受けました。
- 各学年や前項の歌声から練習の積み重ねと仲間への思いが伝わってきました。
- 看板の工夫（アイデア）が非常に良かった。
- 響心協奏、この言葉が良い。
- 実行委委員をはじめ、生徒の皆さんで作り上げてきた様子が伝わりました。

新人大会も大活躍！！４種目で優勝

　９月26、２７日に地区新人大会が開催されました。合同チームも含めて、野球、女子卓球、男子バスケットボール、女子バスケットボールの４種目で優勝と大健闘でした。本当によく頑張りました。また、北ブロック大会においても、男子バスケットボールと女子バスケットボールがともに準優勝で１１月７日に大江町で行われる県統一大会に出場します。さらなる飛躍を期待しています。応援をよろしくお願いします。